

鹿児島県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画の概要 令和5年3月公表

○堆肥など地域資源の活用やIPM技術の普及等を通じた環境負荷低減の取組の推進、有機農産物の地域内外への販売機会の多様化や消費者理解の増進を図るとともに、特定区域（モデル地区）を設定し、地域ぐるみの有機農業の取組を促進する。

【作成主体】 鹿児島県及び県内全43市町村

【計画の主な目標】

- ・ 化学農薬の使用量（R12）：31kg/ha（10%削減）
- ・ 化学肥料の使用量（R12）：218kg/ha（20%削減）
- ・ 有機農業取組面積（R13）：2,000ha



堆肥の施用



堆肥入り低コスト肥料の開発

【取組のポイント】

- ・ 地域資源である家畜排せつ物や焼酎かす、サトウキビのバガス等を原料とした有機質肥料の活用促進、IPM技術の普及などを図り、化学農薬・化学肥料の使用量を低減
- ・ 有機農産物等の販売機会の多様化や、消費者の理解と関心を増進するための普及啓発に取り組み、有機農産物の地域内外流通を拡大



有機農産物の販売促進活動

【特定区域（モデル地区）の設定】

みなみたね
＜南種子町（町内6地区）＞

安納いもやさとうきびなど種子島の地域特産品の有機栽培を推進するとともに、有機農産物の学校給食での提供や地域内外への流通の促進により地域ぐるみで有機農業の産地を形成



消費者との交流（南種子町）